

2019年度第3四半期業績のお知らせ

楽天生命保険株式会社(代表取締役社長:新開 保彦)の2019年度第3四半期(2019年4月1日~12月31日)の業績についてお知らせいたします。

主要業績

新契約指標: 個人保険の新契約年換算保険料は3,862百万円(前年同期比7.5%増)となりました(*1)。当四半期は、「楽天生命スーパー医療保険 戻るんです」を10月から代理店を通じて販売を開始し、当社業績の伸展に寄与しております。また12月からは、保険料支払額の1%分の楽天ポイントの付与を行うポイントプログラム(*2)を開始いたしました。それらの取り組みにより、代理店チャネルの販売実績は前年同期比19%増となり、大きく伸展しております。なお、「楽天生命スーパー医療保険 戻るんです」は2020年1月25日よりインターネットでの販売を開始しております。

保険料収入: 保険料収入は22,694百万円(前年同期比2.1%増)となりました。なお、共済商品区分(*3)を除く生命保険契約については、医療保険や定期保険といった主力商品や団体信用生命保険などの販売により保有契約が増加し14,445百万円(前年同期比19.4%増)となりました。

基礎利益/当期純利益: 成長投資を継続して行う一方で、ペーパーレスの推進、事務の自動化等による事業費の削減等を進めていることから、基礎利益は対前年同期から1,188百万円改善し△631百万円(前年同期実績△1,819百万円)、当期純利益は3,306百万円(前年同期実績△1,813百万円)となりました。

なお、会社法会計とは別に、経営管理の指標としておりますIFRS(国際財務報告基準)においては、当期純利益(税引前)4,419百万円となりました(前年同期比103.2%増・次頁参照)。

ソルベンシー・マージン比率: 前年度末から755.8ポイント増加し1,643.3%となりました。引き続き十分な健全性を維持しております。

主要業績指標	2018年度 第3四半期 (2018年4月1日から 2018年12月31日まで)	2019年度 第3四半期 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)
保険料収入	22,221百万円	22,694百万円
(共済商品区分除く (*3))	12,099百万円	14,445百万円
基礎利益	△1,819百万円	△631百万円
経常利益(又は経常損失(△))	△1,788百万円	2,783百万円
当期純利益(又は当期純損失(△))	△1,813百万円	3,306百万円
ソルベンシー・マージン比率	(*4) 887.5%	1,643.3%

*1 楽天株式会社が一定の条件を満たした楽天会員に提供している1年定期ガン保険(楽天ミニ保険 ガンプラン)を加えた場合、新契約年換算保険料は3,930百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

*2 楽天エコシステムによる募集経費の削減効果等を楽天会員である保険契約者に還元することで実現しました。詳しくは楽天生命の公式ウェブサイトよりご確認ください。

*3 共済商品区分についての新規募集は停止しております。

*4 前年度末(2019年3月末)の数値。

参考:IFRS 基準決算による業績について

楽天グループでは、IFRS(国際財務報告基準)を採用しているため、当社においても、会社法基準のほかに IFRS を採用し、経営管理の指標としております。

(単位:百万円)

	2018 年度 (2018 年 4 月～12 月)	2019 年度 (2019 年 4 月～12 月)	
			対前年同期比
営業収益	22,555	25,853	114.6%
保険料収入	22,220	22,685	102.1%
(うち旧共済契約除く)	12,098	14,444	119.4%
資産運用収益	276	1,493	539.9%
営業費用	20,380	21,434	105.2%
生命保険費用	7,062	7,646	108.3%
資産運用費用	23	9	39.0%
その他費用	13,295	13,778	103.6%
当期純利益(税引前)	2,174	4,419	203.2%

- ・ 保険料収入は前年同期比 2.1%増の 22,685 百万円(共済商品区分を除く保険料収入は前年同期比 19.4%増)となり、その結果、営業収益は 25,853 百万円(前年同期比 14.6%増)、生命保険費用は 7,646 百万円(前年同期比 8.3%増)となりました。
- ・ 当期純利益(税引前)は 4,419 百万円(前年同期比 103.2%増)となりました。

<IFRS 基準決算と会社法基準決算の主な違いについて>

1. 繰延新契約費

- ・ IFRS 基準では、新契約獲得にかかる費用を当期に一括計上せず、繰延処理を行います。
- ・ 会社法基準では、新契約獲得にかかる費用を、当期費用として一括計上します。
従いまして、新契約の販売が好調な時、IFRS 基準では、新契約の増加に比例する形で利益が増加し、会社法基準では、当期の利益が減少します。

2. 責任準備金

- ・ IFRS 基準では、責任準備金の計算に市場金利を用いております。
- ・ 会社法基準では、標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式、標準責任準備金の対象とならない契約については平準純保険料式を用いております。

【お問い合わせ先】

楽天生命保険株式会社 経営企画部 広報担当

TEL: 050-5581-7030 Email: rli-public-relations@rakuten-life.co.jp

2019年度第3四半期業績のお知らせ

楽天生命保険株式会社（代表取締役社長：新開 保彦）の2019年度第3四半期の業績についてお知らせいたします。

※資料中、「第3四半期」は「2019年4月1日～12月31日」を表しております。

<目次>

1.	主要業績	……	P. 1
2.	資産運用の実績（一般勘定）	……	P. 3
3.	四半期貸借対照表	……	P. 5
4.	四半期損益計算書	……	P. 6
5.	経常利益等の明細（基礎利益）	……	P. 8
6.	ソルベンシー・マージン比率	……	P. 9
7.	特別勘定の状況	……	P. 9
8.	保険会社及びその子会社等の状況	……	P. 9

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2018 年度末		2019 年度 第 3 四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	864	12,839	850	98.4	12,692	98.9
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	4,669	-	-	6,269	134.3
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2018 年度 第 3 四半期累計期間				2019 年度 第 3 四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	233	1,175	1,175	-	228	97.8	1,261	107.4	1,261	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2018 年度末	2019 年度	
		第 3 四半期会計期間末	前年度 末比
個 人 保 険	29,680	30,099	101.4
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	29,680	30,099	101.4
うち医療保障・生前 給付保障等	22,222	22,955	103.3

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2018 年度 第 3 四半期累計期間	2019 年度	
		第 3 四半期累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	3,658	3,930	107.4
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	3,658	3,930	107.4
うち医療保障・生前 給付保障等	3,045	3,423	112.4

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です。
2. 「うち医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2018 年度末		2019 年度 第 3 四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	5,501	13.4	14,170	28.0
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	9,058	22.0	8,426	16.7
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	19,145	46.6	19,886	39.3
公 社 債	15,735	38.3	12,889	25.5
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	3,410	8.3	6,996	13.8
公 社 債	3,410	8.3	6,996	13.8
株 式 等	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	300	0.7	300	0.6
不 動 産	99	0.2	23	0.0
繰 延 税 金 資 産	-	-	885	1.8
そ の 他	7,000	17.0	6,867	13.6
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-
合 計	41,105	100.0	50,559	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	-	-	-	-

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位: 百万円)

区 分	2018 年度末					2019 年度 第 3 四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損				差益	差損	
満期保有目的の債券	6,978	7,598	619	619	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	20,816	21,225	409	413	△3	27,972	28,312	339	358	△18
公 社 債	8,572	8,757	184	184	-	12,743	12,889	145	147	△2
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	3,389	3,410	20	20	-	7,010	6,996	△13	2	△16
公 社 債	3,389	3,410	20	20	-	7,010	6,996	△13	2	△16
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	8,854	9,058	204	208	△3	8,218	8,426	207	208	0
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	27,795	28,824	1,028	1,032	△3	27,972	28,312	339	358	△18
公 社 債	15,551	16,355	804	804	-	12,743	12,889	145	147	△2
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	3,389	3,410	20	20	-	7,010	6,996	△13	2	△16
公 社 債	3,389	3,410	20	20	-	7,010	6,996	△13	2	△16
株 式 等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の証券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
買入金銭債権	8,854	9,058	204	208	△3	8,218	8,426	207	208	0
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 本表には、金銭の信託を含んでおりません。

・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は保有しておりません。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2018年度末 要約貸借対照表 (2019年3月31日現在)	2019年度 第3四半期会計期間末 (2019年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		5,501	14,170
買 入 金 銭 債 権		9,058	8,426
有 価 証 券		19,145	19,886
(うち 国 債)	(3,196)	(4,628)
(うち 地 方 債)	(886)	(-)
(うち 社 債)	(11,652)	(8,261)
(うち 外 国 証 券)	(3,410)	(6,996)
貸 付 金		300	300
一 般 貸 付		300	300
有 形 固 定 資 産		327	222
無 形 固 定 資 産		3,366	3,544
代 理 店 貸 貸		7	1
再 保 険 貸 貸		2	2
そ の 他 資 産		3,395	3,120
繰 延 税 金 資 産		-	885
資 産 の 部 合 計		41,105	50,559
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		35,295	36,030
支 払 備 金		1,800	1,798
責 任 準 備 金		33,494	34,232
代 理 店 借 借		791	615
再 保 険 借 借		8	12
そ の 他 負 債		1,265	1,873
未 払 法 人 税 等		28	403
資 産 除 去 債 務		18	1
そ の 他 の 負 債		1,219	1,467
退 職 給 付 引 当 金		152	288
価 格 変 動 準 備 金		34	38
繰 延 税 金 負 債		114	-
負 債 の 部 合 計		37,662	38,859
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		5,000	7,500
資 本 剰 余 金		477	2,977
資 本 準 備 金		40	2,540
そ の 他 資 本 剰 余 金		437	437
利 益 剰 余 金		△2,328	978
利 益 準 備 金		14	14
そ の 他 利 益 剰 余 金		△2,342	963
繰 越 利 益 剰 余 金		△2,342	963
株 主 資 本 合 計		3,148	11,455
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		294	244
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		294	244
純 資 産 の 部 合 計		3,442	11,699
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		41,105	50,559

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2018 年度	2019 年度
		第 3 四半期累計期間 (2018 年 4 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日まで)	第 3 四半期累計期間 (2019 年 4 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		22,629	24,194
保 険 料 等 収 入		22,258	22,755
(うち 保 険 料)	(22,221)	(22,694)
資 産 運 用 収 益		269	1,422
(うち 利 息 及 び 配 当 金 等 収 入)	(202)	(200)
(うち 有 価 証 券 売 却 益)	(67)	(1,221)
そ の 他 経 常 収 益		102	16
経 常 費 用		24,418	21,410
保 険 金 等 支 払 金		7,348	7,104
(うち 保 険 金)	(2,141)	(1,784)
(うち 給 付 金)	(5,144)	(5,212)
(うち 其 他 返 戻 金)	(0)	(13)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		2,937	737
責 任 準 備 金 繰 入 額		2,937	737
資 産 運 用 費 用		23	1
(うち 支 払 利 息)	(1)	(0)
(うち 有 価 証 券 売 却 損)	(21)	(-)
(うち 貸 倒 引 当 金 繰 入 額)	(-)	(0)
事 業 費		12,406	11,617
そ の 他 経 常 費 用		1,702	1,949
経 常 利 益 (又 は 経 常 損 失)		△1,788	2,783
特 別 損 失		3	53
固 定 資 産 等 処 分 損		0	38
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		2	4
そ の 他 特 別 損 失		-	11
税 引 前 四 半 期 純 利 益 (又 は 税 引 前 四 半 期 純 損 失)		△1,792	2,730
法 人 税 及 び 住 民 税		21	403
法 人 税 等 調 整 額		-	△980
法 人 税 等 合 計		21	△576
四 半 期 純 利 益 (又 は 四 半 期 純 損 失)		△1,813	3,306

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2019年度第3四半期会計期間末

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項
当第3四半期会計期間末の発行済株式 普通株式 26,516株
なお、自己株式は保有していません。
2. 株主資本の金額の著しい変動
当社は、2019年8月30日付で、楽天インシュアランスホールディングス株式会社から株主割当による増資の払い込みを受けております。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が2,500百万円、資本準備金が2,500百万円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が7,500百万円、資本準備金が2,540百万円となっております。
3. 保険業法施行規則第71条第1項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金の金額は2,021百万円です。

(四半期損益計算書関係)

2019年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純利益は172,344円81銭であります。
2. 将来の金利環境の変化に機動的に対応できるよう運用方針を変更致しました。これにより、満期保有目的の債券を償還期日到来前に全て売却しております。当会計期間に売却した満期保有目的の債券は以下のとおりであります。

(百万円)

区分	売却原価	売却額	売却益
国債	3,197	3,795	597
地方債	887	987	100
社債	2,895	3,300	404
合計	6,980	8,083	1,102

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2018年度 第3四半期累計期間	2019年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△1,819	△631
キャピタル収益	67	1,221
金銭の信託運用益	-	-
売買目的有価証券運用益	-	-
有価証券売却益	67	1,221
金融派生商品収益	-	-
為替差益	-	-
その他キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	21	-
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	21	-
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	45	1,221
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△1,774	590
臨時収益	-	2,193
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	-	171
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	-	2,021
臨時費用	14	0
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	14	-
個別貸倒引当金繰入額	-	0
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	△14	2,193
経常利益（又は経常損失） A+B+C	△1,788	2,783

※その他臨時収益：再保険による責任準備金戻入 2,021 百万円

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2018年度末	2019年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	10,767	20,134
資本金等	3,148	11,455
価格変動準備金	34	38
危険準備金	2,016	1,844
一般貸倒引当金	-	-
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	368	305
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	6,861	6,114
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△1,662	-
控除項目	-	-
その他	-	374
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	2,426	2,450
保険リスク相当額 R1	982	842
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	981	975
予定利率リスク相当額 R2	3	3
最低保証リスク相当額 R7	-	-
資産運用リスク相当額 R3	1,249	1,537
経営管理リスク相当額 R4	96	67
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	887.5%	1,643.3%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。